

自己評価票

記入日:平成 30年 1月 20日

平成30年3月19日

株式会社 ブルーライン

評価基準の目安 ⇒ a:全て実施している状態 b:実施していないものがある状態 c:全く実施していない状態

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント	
I 福祉サービスの基本方針と組織								
I-1 理念・基本方針								
I-1-1 理念、基本方針が確立・周知されている。								
1	I-1-1-1-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 55% 45% 0% 0% 0%	a			ホームページを作り直し、職員だけでなく、保護者の方や地域の方々にも周知できるようになった。	a	理念・基本方針はホームページやパンフレット・入園のしおり・重要事項説明書等、関係書面には明示されており、分かり易く職員の行動規範としての役割や、保護者に対しても目指している保育内容が明示されている。園長は年初の所信表明の機会に、職員に対しても保護者に対しても説明しており、特に保護者向にはより分かり易い資料を用いて説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(福祉施設・事業所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念は、法人(福祉施設・事業所)が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人(福祉施設・事業所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、利用者や家族への周知が図られている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針を保護者会等で資料を基に説明している。					レ	
I-2 経営状況の把握								
I-2-1 経営環境の変化等に適切に対応している。								
2	I-2-1-1-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 55% 15% 30% 0% 0%	b			戸田市の園長会や法人の園長会で情報交換をしているが、異動してきたばかりで戸田市の状況を把握しきれていない。	b	地域に於ける福祉事業の動向や福祉計画の策定動向に付いては、市の保育幼稚園課や戸田市園長会・要保護児童対策協議会に於いての会議や協議会より情報を得ており、それに基づきコスト分析や利用者の推移・利用率等の分析を行っている。子育て支援センターより得られる情報収集に付いても、今後、支援センターの機能として期待される。
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。					レ	
		<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。					レ	
		<input type="checkbox"/> 利用者数・利用者像等、福祉サービスのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(福祉施設・事業所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。						
		<input checked="" type="checkbox"/> 定期的に福祉サービスのコスト分析や福祉サービス利用者の推移、利用率等の分析を行っている。					レ	
3	I-2-1-1-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 40% 35% 25% 0% 0%	b			法人の会議や理事会等で報告を行っているが、具体的な取組を行っていない。	b	将来の園としての組織体制や設備の整備・職員体制・人材育成等に付いては、中期的な検討が必要と思われるが、法人としても具体的に中期計画を如何に策定すべきかが課題となっている。しかしながら、法人内での検討に於いては中期的な利益計画等で課題は挙げられており、職員にも人事考課制度の展開に於いて、その内容は説明され伝えられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。					レ	
		<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。					レ	
		<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。						
I-3 事業計画の策定								
I-3-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。								
4	I-3-1-1-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 50% 15% 20% 0% 15%	c				c	中・長期計画は策定されていない為、具体的にPDCAサイクルで管理できる体制にはなっていないが、利益計画としての検討は始められている。
		<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。						
		<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。						
		<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。						
		<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。						
5	I-3-1-1-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 50% 10% 20% 0% 20%	c				b	中・長期計画は策定されていない為、その内容を反映した年度の事業計画は作られていないが、重点課題、特に児童数に関する課題に付いて、一般園児・一時保育・子育て支援別に目標人数を置き、中間・期末に於いて評価・見直しを行っている。又、設備・備品に付いて、緊急を要する物から修理/買い換え計画を策定している。
		<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。					レ	
		<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。					レ	
		<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。					レ	
		<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。					レ	
I-3-2 事業計画が適切に策定されている。								
6	I-3-2-1-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 45% 30% 15% 0% 10%	b			年度末に計画を立て、職員に周知している。また、人事考課シートにも載せている。	a	事業計画として掲げた重点課題に付き、本年度の計画値を決定する際、本部の指示も確認し、又、職員の意見も加味して策定されている。計画内容は月次別利益計画とリンクした形で毎月の園長会の報告事項になっており、予算/実績管理としてPDCAのチェックが行われる。園長会の報告は職員会議に於いて行われ、職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。					レ	
		<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。					レ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。					レ	
7	I-3-2-1-②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 50% 15% 20% 0% 15%	c			保護者の方には周知していない。	c	事業計画の内容は、保護者に対して資料の説明や所内掲示・配付等が行われていない。現在の所、利用者への事業計画の周知や定期的な家族会の開催も行われていない為、より理解しやすい工夫として面談やアンケートを始めている。
		<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、利用者や家族等に周知(配布、掲示、説明等)されている。						
		<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を利用者会や家族会等で説明している。						
		<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、利用者等がより理解しやすいような工夫を行っている。						
		<input type="checkbox"/> 事業計画については、利用者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。						

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント				
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組											
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。											
8	I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	45%	45%	5%	0%	5%	b	人事考課シートを作成し、面談や考課を行っている。自己評価も行っているが、第三者評価行っていない。	a	福祉サービスの向上に付いては、人事考課制度に於ける個別の目標管理に於いて、保育(サービス)方法を改善する上での課題が取り上げられており、人事考課システムの中で展開されるPDC Aの実施内容が、イコール質の向上に繋がっている。自己評価に付いては、年1回実施され結果は詳細に分析されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく福祉サービスの質の向上に関する取組を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。 <input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。									レ レ レ レ
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	65%	20%	15%	0%	0%	c		a	実施された自己評価の分析結果に基づき、課題の明示と職員間での周知・共有が行われている。又、保護者に対しても園便りに結果を掲載し周知している。定期的に評価・見直しを行うと共に、次年度の保育課程の策定にもフィードバックされる。
		<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。 <input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。 <input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。 <input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。 <input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。									レ レ レ レ レ
II 組織の運営管理											
II-1 管理者の責任とリーダーシップ											
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。											
10	II-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	75%	15%	5%	0%	5%	a	年度始めの会議で方針等を伝えている。また、職務分掌等を記載したものを配布している。	a	職員に対しては、年度初めの職員会議に於いて所信を伝達しており、又、保護者に対しては、園だよりや面談の際に表明している。職務分掌に付いては、運営規程に文章で明確化されており、職員に周知・徹底されている。只、一覧表形式になっているとより分かり易いのではないと感じる。有事の際の管理者の役割と責任については、不在時の権限委任等を含め運営規程に明記されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、自らの福祉施設・事業所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における管理者の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。									レ レ レ レ
11	II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	75%	15%	5%	0%	5%	b		a	園長は、市内保育所園長会や関係団体での協議の中で紹介された法令に関わる情報や、研修に参加した際に得られた法令に関する内容の他、遵守すべき法令等を理解しており、職員に対しても、研修報告等として職員会議等に於いて遵守すべき法令を周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。 <input type="checkbox"/> 管理者は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。 <input type="checkbox"/> 管理者は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 管理者は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。									レ レ レ レ
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。											
12	II-1-(2)-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	90%	5%	0%	0%	5%	a	年度始めに冊子を配布し、保育の取り組み方等を職員に周知している。また、人事考課シート作成や面談を行い、質が上がるような取り組みを行っている。	a	年度始めに冊子を配布し、保育の取り組み方等を職員に周知している。又、人事考課シート作成時と年度末に定期面談を行い、質が上がる様な取り組みを行っている。今後の運営体制の改善として、副主任(2名)・幼児リーダー・乳児リーダーを選任し、主任を含めた6名合議体制での方針決定会議の創設を進めており、双方向の意見のやり取りがし易い組織作りを進めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、実施する福祉サービスの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。									レ レ レ レ レ
13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	85%	5%	0%	0%	10%	b	年度当初に立てた計画に基づき、運営を行っている。職員の意見を聴き、環境の整備を行ったり、配置を柔軟に行ったりしている。	a	職員の労務管理内容や利益計画に対する進捗管理に関しては、本部に対する報告項目として月次毎に管理されている。又、人員計画に関しては、計画に対する過不足を管理しており、本部と調整しながら補充が進められる。職員の働きやすい職場作りの一例として、休憩時間改善の為に清掃作業を外部委託したり、残業の削減対応として、空ききの時間が出たら前倒しできる業務の先行実施を進める等、効果が出ている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 管理者は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 管理者は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。									レ レ レ レ
II-2 福祉人材の確保・育成											
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。											
14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	55%	30%	15%	0%	0%	b	実習生を受け入れたりと、就職面接会等に参加したり、職員の確保ができるよう努力している。また、入職してからは、園内研修や園外研修へ参加し、力をつけられるようにしている。	a	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方に付いては就業規則に明文化されており、福祉人材の確保と育成に関する方針に関しては、キャリアパスイメージに表明されている。運営体制の改善として、副主任(2名)・幼児リーダー・乳児リーダーを選任し、主任を含めた6名合議体制での方針決定会議の創設を進めている。人材確保に関しては、補充が必要となった場合、正社員は法人、契約社員は園が募集する事としている。
		<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。									レ レ レ レ

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント		
15 II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。 65% 25% 5% 0% 5%					b	人事考課に基づき、キャリアアップができるような取り組みを行っている。	a	期待する職員像は、就業規則やオリエンテーションのしおりに明示されている。人事基準に付いては、評価基準が策定されており、成果評価と能力評価がなされ、総合評価として決定されている。只、評価基準の内容に付き、評価の客観性と公平性をどの様に担保して行くのかが、今後の改善課題である様に感じる。結果に付いては、面談で伝えられ職員の意向・意見を聞き、又、評価値と共に各々に対する期待値等も伝えられている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。									
16 II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 70% 25% 5% 0% 0%					b	職員の意見を聴く機会を設けている。また、ストレスチェックを行っている。	a	職員の就業状況や有給休暇の取得状況・時間外労働等の労務管理に関しては、園長の本部への報告項目ともなっており、園長により管理管轄されている。職員のメンタルヘルスに関しては、年1回のストレスチェックの他、相談窓口の設置や相談しやすい環境作りに努めている。ワークライフバランスへの配慮としては、年休の時間単位での取得可への変更や、会議時間の削減・会議進行方法の改善(資料の事前配布)等が効果を発揮しており、働きやすい職場作りに繋がっている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。									
17 II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 55% 35% 10% 0% 0%					a	ホームページや配布資料に載せている。人事考課面談で進捗状況を確認	a	期待する職員像は、就業規則やオリエンテーションのしおりに明示されており、職員毎の人事考課の仕組として目標管理システムが構築されている。目標管理の仕組では、管理項目(3~4項目)を掲げ、開始時/中間/期末の評価面談が行われる。評価・見直しに付いては中間と期末に行われ、成果評価・能力評価と併せ、総合評価が行われ、進捗状況と合わせ達成度が評価される。
18 II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 60% 30% 10% 0% 0%					b	研修計画を立て、年度末に評価や見直しを行う予定である。	a	法人作成の冊子の中に、期待する職員像や必要とされる専門資格・専門技術が明示されており、新入職研修始め、中途採用者研修・資格取得の為の研修・階層別研修等が準備されており、策定された教育・研修計画に基づき、研修が実施されている。内容やカリキュラムに付いては、年度毎に評価・見直しが行われる。
19 II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 70% 30% 0% 0% 0%					b	研修の機会を園内・園外共に設けている。職員全員が参加できるよう配慮している。	a	職員一人ひとりの知識、技術水準、専門資格(幼稚園教諭資格 他)の取得状況等は研修履歴簿等により把握されている。新任職員に対しては、保育課程を標準的実施方法のマニュアルとして、教育担当によるOJTが行われる。法人により新入職研修始め、中途採用者研修・資格取得の為の研修・階層別研修等が準備されている。外部研修に付いては、推薦や希望により派遣者の決定がされるが、職員全員が参加できる様な配慮もされている。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。									
20 II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 65% 30% 0% 0% 5%					b	実習生向けのしおりを配布し、オリエンテーションで説明を行っている。また、養成校の先生方と連絡をとったり、説明会に参加したりしている。	b	実習生の受入れオリエンテーションで使用される「実習オリエンテーション」に実習生の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。実習に関するマニュアルやプログラムに付いては、園として準備していないが、学校側が準備した物を使用し学校側と連携して実習が進められている。実習指導者は、指導者研修の受講者が指導に当たっている。
II-3 運営の透明性の確保									
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。									
21 II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 50% 20% 15% 0% 15%					b	ホームページで理念等を明示している。	b	ホームページに理念・基本方針や福祉サービスの内容に関しては公開されているが、事業計画・事業報告・予算・決算情報は載っていない。苦情・相談の受付の仕組は、第三者委員の任命も含め整備されており、解決した内容によっては園よりにて公表もしている。子育て支援センターの案内は、医院等に置いて貰っている他、市の説明会の際等に配布している。

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
22 II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。				b	就業規則や規定等で周知している。	b
	50%	20%	10%	0%	20%		
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。						レ
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。						レ
	<input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。						レ
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。						レ
II-4 地域との交流、地域貢献							
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。							
23 II-4-(1)-①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。				b	併設している子育て支援センターで、地域の方に講師をしていただいたり、情報を収集したりしている。	b
	50%	35%	10%	0%	5%		
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。						
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所や利用者への理解を得るために、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けている。						レ
	<input type="checkbox"/> 利用者の買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。						レ
24 II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。				b	ボランティアの受け入れは行っているが、マニュアル等は整備されていない。	b
	80%	15%	0%	0%	5%		
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。						
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。						
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。						
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアに対して利用者との交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。						レ
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。							
25 II-4-(2)-①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。				b	職員会議をはじめ、各会議で検討し、情報の共有を図っている。	a
	65%	30%	0%	0%	5%		
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の利用者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。						レ
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。						レ
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がいない場合には、利用者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子供への対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。						レ
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。							
26 II-4-(3)-①	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。				a	子育て支援センターでは、地域の方々が利用できるような講座等の活動を取り入れている。	b
	70%	20%	5%	0%	5%		
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。						レ
27 II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。				b	育児相談等は行っている。	b
	75%	15%	5%	0%	5%		
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。						レ
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。						レ
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。						レ
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。						レ
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。						レ
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。						レ

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
III 適切な福祉サービスの実施							
III-1 利用者本位の福祉サービス							
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。							
28	III-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 75% 20% 0% 0% 5%	b			職員会議や園内研修等で話し合いを行っている。	a 保育課程始め、職員の行動規範となる文書類には、理念や基本方針に掲げられた、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示されており、職員が理解し実践するための取組を行っている。又、保育課程は、職員の標準的な実施方法の礎として位置付けられており、内容に付いては、基本部分を園長・副園長・主任・副主任等、によりまとめられ、職員の意見も反映した形で保育のベースに置かれている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針に、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。					レ
		<input type="checkbox"/> 利用者を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。					レ
		<input type="checkbox"/> 利用者の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。					レ
		<input type="checkbox"/> 利用者の尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 子供が互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。					レ
		<input type="checkbox"/> 子供の人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。					レ
29	III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。 65% 20% 5% 0% 10%	b			規定等はあるので、研修に参加する予定である。	b 利用者の虐待防止等の権利擁護に付いての規程・マニュアル等は整備されているが、プライバシー保護に関しては策定されていない。職員はプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等は理解し実践しているが、プライバシー保護に関しての研修等は行われていない。設備的な対応の一つとして、トイレ内にカーテンを設置し見えないう様に配慮している。プライバシー保護に関する規程・マニュアル等がない為、保護者への周知や職員への懲戒規程等は策定されていない。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。					レ
		<input type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの利用者にとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、利用者のプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者や家族にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた福祉サービスが実施されている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。					レ
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。							
30	III-1-(2)-①	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。 75% 10% 5% 0% 10%	a			ホームページやおたより等で情報を提供している。	a 利用希望者に対しては、ホームページやパンフレット等で情報提供が行われている。紹介資料は、絵や写真等を多用し分かりやすくまとめられており、個別に丁寧な説明が行われている。併設する一時保育や子育て支援センターの利用を含め、見学や体験入所・一日利用等の希望に対応している。情報を提供する資料に付いては、変更事由が発生した都度、適宜見直しを実施される。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念や基本方針、実施する福祉サービスの内容や福祉施設・事業所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設・事業所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。					レ
31	III-1-(2)-②	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。 85% 10% 0% 0% 5%	b			配慮が必要な保護者への対応は適宜行っているが、明文化されていない。	a サービス開始時に於いては、契約書の取り交わしにより利用者(保護者の)自己決定尊重としている。サービス開始・変更時には、重要事項説明書始め、保育のしおり等を用いて面談は個別に、説明会は小グループで行い、利用者が理解しやすい様、説明内容・方法を工夫している。又、入園後は成長の記録を残している。意思決定が困難な利用者への配慮に付いては、個別保育計画の策定に於いて配慮する事としている。
		<input checked="" type="checkbox"/> サービス開始・変更時の福祉サービスの内容に関する説明と同意にあたっては、利用者の自己決定を尊重している。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> サービス開始・変更時には、利用者がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 説明にあたっては、利用者や家族等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> サービス開始・変更時には、利用者や家族等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。					レ
		<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な利用者への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。					レ
32	III-1-(2)-③	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。 80% 15% 0% 0% 5%	b			卒園・退園してから相談方法は明文化されていない。	a 保育理念の始めの文言が「子供達の最善の利益を基盤にし・・・」と謳われている事からも、いつ何時に於いても著しい変更や不利益が生じない様に配慮されている。他の保育所や家庭への移行時には、それまでの成長の記録を引継ぎ文書として渡している。終了後の相談に付いては、卒園後も何時でも受け付ける旨の説明をお別れ会等で行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 他の福祉施設・事業所や地域・家庭への移行にあたり、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの利用が終了した後も、組織として利用者や家族等が相談できるように担当者や窓口を設置している。					レ
		<input type="checkbox"/> 福祉サービスの利用が終了した時に、利用者や家族等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。					レ
III-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。							
33	III-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 65% 30% 0% 0% 10%	b			保護者への聴き取りの面談やアンケートを行っている。	a 利用者に対する満足度調査を定期的に行っており、日常の面談や保護者懇談会で得られた内容も含め、具体的な改善に結びつけている。満足度アンケートは催し物の開催毎にも行われ、以後の行事等に反映されている。分析結果は園だより等で保護者へも伝えられており、今回の第三者評価で行われたアンケート結果も、職員間で情報共有する事と併せ、保護者へのフィードバックを考えている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査が定期的に行われている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者への個別の相談面接や聴取、利用者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。					レ
		<input type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足を把握する目的で、利用者会や家族会等に出席している。					レ
		<input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、利用者参画のもとで検討会議の設置等が行われている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。					レ
		<input checked="" type="checkbox"/> 日々の保育の中で、子供の満足を把握するように努めている。					レ

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。							
34 III-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 55% 40% 0% 0% 5%	a	苦情解決の仕組みは整備されており、掲示とうもっている。			苦情相談窓口として、苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置が行われており、説明した文書は所内掲示されており、又、重要事項説明書にも掲載され、入園の時に保護者に対して説明がされている。苦情受け付け書が作成されており、利用者からの苦情相談申し出時に職員が記載し記録とされている。検討内容や対応策に付いては、申告者に必ずフードバックされ、同意を得た内容に付いては、公表の仕方を工夫した上で公表している。この中から質の向上に関わる取組も行われている。	a
	<input checked="" type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を利用者等に配布し説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、利用者や家族が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、利用者や家族等に必ずフィードバックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た利用者や家族等に配慮したうえで、公表している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、福祉サービスの質の向上に関わる取組が行われている。						
35 III-1-(4)-②	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。 65% 30% 0% 0% 5%	b	園舎2階奥に多目的室がある。			「苦情相談窓口」として仕組が策定されており、苦情受け付けと同様の扱いとして掲示もされている。依って、窓口も同様、複数の中から相手を選べる事ができる仕組となっている。相談スペースに付いては、2階の多目的室を使用している。	a
	<input type="checkbox"/> 利用者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 <input type="checkbox"/> 利用者や家族等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。						
36 III-1-(4)-③	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 90% 0% 5% 0% 10%	a	面談やアンケートで意見を聴き、職員会議等で検討している。			利用者からの相談や意見を受けた際には苦情受け付け書が作成されており、利用者からの苦情相談申し出時に職員が記載し記録とされているが、マニュアルとして整備されていない。意見箱は設置されていないが満足度アンケートは定期的実施されており、その中で得られた意見・要望等は質の向上に関わる取組として行われている。職員は日々利用者が相談しやすい様に配慮し、意見の傾聴に努めている。	b
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は、日々の福祉サービスの提供において、利用者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、利用者の意見を積極的に把握する取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意見等にもとづき、福祉サービスの質の向上に関わる取組が行われている。						
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。							
37 III-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 60% 25% 10% 0% 5%	b	マニュアルは整備されているが、リスクマネージャーは選任されていない。			リスクマネジメントに関しては、防災防犯委員会に於いて検討されている。併せて、ヒヤリハットの情報収集・要因分析・改善策・再発防止策の検討等が行われており、職員会議で報告されている。危機管理マニュアルや事故発生対応マニュアルが策定されている。又、内部・外部の研修の受講もされている。ヒヤリハットから出た事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性に付いての評価・見直し等は行われていない。尚、事務所が不在の時間が多く、セキュリティ上、多くの保護者が不安と感じている事を特記したい。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。						
38 III-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 75% 20% 0% 0% 5%	a	マニュアルは整備されている。また、研修を行い、適切に対応できるようにしている。			危機管理マニュアルには、感染症等の発生時の管理体制が決められており、主たる感染症に対応したマニュアルが整備されていると思われるが、直ぐに提示できない状態に有り機能しているかが不明。看護師を中心に予防対策を含め勉強会等が開催されている。流行前に保健だよりを配布し、予防を呼びかけている。子供達の予防策として手洗いの励行を指導しており、手拭きタオルからペーパーに変更し対策した。	b
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者への情報提供が適切になされている。						
39 III-1-(5)-③	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。 75% 20% 0% 0% 5%	a	防災マニュアル、避難計画等整備されており、訓練も行っている。			防災マニュアルが策定されており、避難計画等も整備されている。又、防災計画に基づき月1回、避難訓練も行っている。事業継続計画等のシミュレーション等は今後の課題となっている。避難の際の安否確認方法も決められており、食料や備品類の備蓄のローリングもリストを持って行われている。	b
	<input checked="" type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。						
III-2 福祉サービスの質の確保							
III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。							
40 III-2-(1)-①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。 65% 25% 0% 0% 10%	a	入園時にしおり・重要事項説明書を配布し、説明している。職員に対しては、しおりをもとに確認・振り返りを行っている。			標準的な実施方法のベースとして保育課程を使用している。保育課程には基本的人権への配慮や子どもの権利擁護やプライバシー保護に付いても触れられており、毎月の報告段階で月案がまとめられ、上長に報告される事で実施状況が把握されている。保育課程は、月次のまとめを経る毎に改善され、マニュアル的ではあるが画一的にはなっていない。	a
	<input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、利用者の尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。						

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
41 III-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 65% 20% 5% 0% 10%				a	会議等での検討、園内研修での保育の振り返り等行っている。	a 保育課程を持って標準的な実施方法としているが、内容の検証や見直しは月案の報告との摺り合わせの中で行われており、必要があれば都度、定期的には年度初めに合わせて検証・見直しが行われる。個別保育計画や職員・利用者からの意見や提案を受けて改訂される場合もある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、個別的な福祉サービス実施計画の内容が必要に応じて反映されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。							
42 III-2-(2)-①	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。 75% 15% 5% 0% 5%				b	保育課程、カリキュラム等策定している。	a 個別保育計画策定の前段階でアセスメントを行い種々の情報が確認される。アセスメントの手法は標準化されており、特別な配慮が必要な子供(アレルギー等)の場合は、様々な職種の職員や医師によるカンファレンスを行う場合もある。個別保育計画は0~2歳は個別のニーズ等も記載されているが、3~5歳はクラス別のまとめの資料としている。指導計画がその通り行われているかどうかは、日報・週案・月案に成長の記録として記録され、振り返りや評価を行う仕組みとされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画策定の責任者を設置している。 <input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 <input type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画には、利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画どおり福祉サービスが行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な福祉サービスの提供が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育過程に基づき、指導計画が策定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供と保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画に基づく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
43 III-2-(2)-②	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。 55% 25% 10% 0% 10%				a	自己評価や会議等での反省や見直しを行っている。	a 個別保育計画については、月次毎に月案のまとめ時に見直しが行われ、必要があれば変更される仕組みとなっている。その内容は、上長に報告される段階で確認され、関係職員にも周知される。新たに新年度の指導計画の作成に当たっては、アセスメント内容から再度見直しされ、適正な支援計画が策定される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しによって変更した福祉サービス実施計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画を緊急に変更する場合は、標準的な実施方法に反映すべき事項、福祉サービスを十分に提供できていない内容(ニーズ)等、福祉サービスの質の向上に関わる課題等が明確にされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。							
44 III-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 60% 25% 5% 0% 10%				b	園児の様子は、ミーティングや会議で情報を共有している。	b 年間の保健計画に基づき健康診断等が行われ、統一した様式に各種記録がされる。サービス実施計画に基づくサービスが実施されている事は、各種記録(日報・週案・月案等)により確認できる。実施内容は、上長に報告される際に書き方等も確認され、必要があれば訂正され指導される。記録ファイルの閲覧等は実施されているが、情報の分別については、ネットワーク化がされた後の対応となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。 <input type="checkbox"/> サービス実施計画にもとづくサービスが実施されていることを記録により確認することができる。 <input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムを利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
45 III-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。 80% 5% 10% 0% 5%				a	規定があり、職員に周知している。	a 個人情報保護規程が策定されており、利用者の記録の保管・保存・廃棄・情報の提供等に関する規定を定めている。就業規則に個人情報の不適切な扱いに関する懲戒規程が定められており、入園の際には職員に対し誓約書の提出も義務付けられている。個人情報保護に関する研修は、新入職時の研修にも織り込まれており、職員は個人情報保護規程等を理解し、遵守している。又、保護者に対しても説明されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、利用者の記録の保管・保存・廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の不適切な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、利用者や家族に説明している。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
個別評価項目【保育所】							
A-1 保育内容							
A-1-(1) 保育課程の編成							
1 A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子供の心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。 70% 20% 5% 0% 5%				a	保育課程は、理念・方針に基づき作成されている。見直しも行う予定である。	a 保育課程は、児童憲章・児童の権利に関する条約・児童福祉法・保育所保育指針等の趣旨を捉えて編成されており、理念や保育方針に基づき編成されている。保育課程は職員参画の元、検討され、定期的に評価・見直しが行われ、編成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨を捉えて編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、子供の発達過程、子供と家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開							
2 A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子供が心地良く過ごすことのできる環境を整備している。 65% 30% 5% 0% 0%				a		a 室内の居住環境は、常に快適な状態に保たれている。寝具は全てリースの物を使用しており、毎日交換され衛生的な物が支給されている。家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。特に0歳児は発達が早いので、ために配置換え等を行っている。食事や睡眠の空間は、落ち着いた雰囲気の中で心地よい空間が確保されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の子供が、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事や睡眠のための心地良い生活空間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子供が利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
3 A-1-(2)-②	一人一人の子供を受容し、子供の状態に応じた保育を行っている。				a		a
	70% 25% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 子供の発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人一人の子供の個人差を十分に把握し、尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の欲求を受け止め、子供の気持ちに沿って適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供に分かりやすい言葉遣いで、穏やかに話している。 <input checked="" type="checkbox"/> せかさ言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。						連絡ノートで毎日家庭での出来事も把握している。子供とはゆったりとした気持ちで接し、安心して自分の気持ちを表現できる様、配慮している。子供の気持ちを理解し、先ずは欲求を受け止めるよう対応している。呼びかけや話をする際は、穏やかに分り易く話す様に心掛けている。子供をせかせかせたり制止する様な言葉は極力使用しない様になっている。
4 A-1-(2)-③	子供が基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。				a		a
	75% 20% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の子供の発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けられるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣の習得に当たっては、子供が自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣の習得に当たっては、強制することなく、一人一人の子供の主体性を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の子供の状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣を身に付けることの大切さについて、子供が理解できるように働き掛けている。					子供の発達や生活習慣に合わせて、自分でやろうと云う主体性を尊重し、生活に必要な基本的な生活習慣(例:手洗い/着替え等)を身につけられる様、援助を行っている。一人ひとりの子供の状態に配慮しながら、運動と休息のバランスに注意し水分補給等もまめにやっている。	
5 A-1-(2)-④	子供が主体的に活動できる環境を整備し、子供の生活と遊びを豊かにする保育を展開している。				a		a
	80% 15% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 子供が自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が自発性を発揮できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 <input checked="" type="checkbox"/> 生活と遊びを通して、友達などと人間関係が育まれるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供たちが友達と協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 社会的ルールや態度を身に付けていくよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 身近な自然と触れ合うことができるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。					遊具等は子供が自由に選べる様に、自主性・自発性に配慮している。否定的な言葉は使わず、子供が自発性を発揮できる様に援助している。あそびの中で体を動かす事の楽しさを感じられる様、支援している。生活とあそびの中で集団活動をする事により、人間関係が育まれる様、又、友達と協同して活動し一緒にやり遂げられる様、援助している。約束を守る等、社会的ルールや態度を身に付けていく様に配慮している。お泊まり保育の時には食材の買い出しを行い、社会体験が出来る機会を設けている。歌やお遊戯等、様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	
6 A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。				a		a
	70% 25% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の表情を大切に、応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。					0歳児が、長時間過ごす事に適した生活と遊び、及び延長時間には部屋を変える等、環境への工夫がされている。安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てる様、同じ職員が極力関わられる様、配慮している。子供が興味と関心を持つ事ができる様、応答的な関わりをしている。遊び道具に付いては、一人で遊べる手作り玩具を使用する等の配慮がされている。	
7 A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。				a		a
	55% 30% 5% 0% 10%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の子供の状況に応じ、子供が自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育士等が、友達との関わりを仲立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 様々な年齢の子供や、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の子供の状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。					1・2歳児の保育に於いて、子供に自分でやろうと云う気持ちが出てきた場合は、なるべく見守り自発的な活動を尊重している。居室ではなるべく自由に動ける様に探索活動等が行える環境を整備している。まだお話が出来ない子供には友達とのコミュニケーションが出来る様、仲立ちをしている。異年齢クラスでの体験や、保護者による保育士体験の機会等を通して、保育士以外の大人との関わりを図っている。ドキュメンテーション(写真入りの説明資料)等を利用して、家族に説明したりして支援している。	
8 A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。				a		a
	90% 5% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友達とともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5歳児の保育に関して、集団の中で一人一人の子供の個性が活かされ、友達と協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。					3歳児の保育に関して、集団での約束事が守れる様、又、あそびの中で興味を持って取り組める様な環境を整え支援している。4歳児の保育に関して、集団としての約束事として決定できる様に、又、友達と共に楽しみながら遊びや活動に取り組める様、関わっている。5歳児の保育に関して、集団の中で皆の意見を聞く事が出来る様、又、友達と共に協力して何かをやり遂げる達成感を味わえる様、支援している。	

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
9 A-1-(2)-⑧	障害のある子供が安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。				a		a
	75% 20% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害のある子供の状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連付けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画に基づき、子供の状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は、障害のある子供の保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育所の保護者に、障害のある子供の保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。						障害のある子供の対応について、バリアフリー化やスロープを増やす事は、当初より配慮されていた。通常の子供達の集団の中での活動が難しい様な場合は、個別に対応した計画を作成し対応している。保育所での生活に付いて、家族の意向を確認しより連携を密にしている。必要に応じて市からの巡回医療指導等も利用している。職員は園内外の研修に参加し、必要な知識や情報を得ている。入園時に一般の保護者に対して、障害児保育を実施している旨、伝達している。
10 A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。				a		a
	80% 10% 5% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子供主体の計画性を持った取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の状況に応じて、穏やかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なる子供と一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育時間の長い子供に配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当の保育士と保護者との連携が十分に取れるように配慮している。						延長保育を含む長時間保育となった場合、1日を見通した計画的な取組みを行っている。課程と同じ様な量やマットの場所を作り、ゆったりと過ごすことができる環境を整えている。泣き止まない子に対しては、一度違う場所に連れて行く等を行い、穏やかに過ごせる様、配慮している。延長に入ってから徐々に年上の子供達との合同保育に移行し、おやつ・食事の提供を行い、楽しく過ごせる様、配慮している。職員間の情報連携に付いては、朝のミーティングに於いて職員間での情報共有をしっかりと行っている。
11 A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。				a		a
	75% 15% 5% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者が、小学校以降の子供の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。						埼玉県では、「3つのめばえ」として生活/興味・感心/他者との関係を、入学までに身につけて欲しい事として保育所等に提案して。それに対応して保育所では子供が、小学校入学以降の生活について見通しを持てる様になる機会として、小学校を訪問したり、幼保小連絡協議会に於いて情報連携したりして、入学準備を整えている。
A-1-(3) 健康管理							
12 A-1-(3)-①	子供の健康管理を適切に行っている。				a		b
	85% 10% 0% 0% 5%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 子供の健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人一人の子供の心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の子供の健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 既往症や予防接種の状況など、保護者から子供の健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対し、保育所の子供の健康に関する方針や取組を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。						多肢に渡りバイタルチェックが実施されているが、健康管理に関するマニュアルは準備されていない。子供の体調悪化・けが等に付いては、保護者に伝えるとともに、事後の確認を必ず行っている。子供の保健計画は年間計画として作成されている。ひとり一人の子供の健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。特に感染症の罹患情報に付いては、漏れなく共有されている。保護者に対しては、保健日より子供の健康に関する方針や取組を伝えている。SIDS対策として見回り時間の徹底を行っている。
13 A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。				a		a
	70% 15% 5% 0% 10%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。						健康診断・歯科健診の結果は記録され、保護者、及び関係職員に周知される。健康診断・歯科健診の結果は保健計画に反映され、保育が行われている。保護者へは特に歯科検診情報を伝え、虫歯予防に役立てて貰っている。
14 A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子供について、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。				a		a
	100% 0% 0% 0% 0%						
	<input checked="" type="checkbox"/> アレルギー疾患のある子供に対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を基に、子供の状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性疾患等のある子供に対して、医師の指示の下、子供の状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事の提供等において、他の子供たちとの相違に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の子供や保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。						アレルギー疾患のある子供に対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を基に、子供の状況に応じた適切な対応を行っている。慢性疾患等のある子供に対しては、医師の指示書に従い子供の状況に応じた適切な対応を行っている。保護者とは、猥立の確認を行う等、保育所での生活に配慮している。食事の時は食器・トレイは色分けして対応している。職員は研修等で必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
A-1-(4) 食事							
15 A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。				a		a
	70% 30% 0% 0% 0%						
	<input checked="" type="checkbox"/> 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置付け取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食器の材質や形などに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供が、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。						食事に関する経験が出来る様、食育に関する年間計画を立てて対応している。食事の時間は小グループに分かれ、職員が必ず付いて一緒に楽しく食べられる様にしている。子供の発達やその日の食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。残食実績の高い物は、見た目でも食べたくなる様な工夫がされている。子供が、食に付いての関心を深める為の取組としてプランターでの野菜栽培等を行っている。

評価項目	a	b	c	非該当未回答	評点	コメント	評点/第三者評価者コメント
16 A-1-(4)-②	子供がおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 100% 0% 0% 0% 0%				a	さいたま市の献立を使用	a 子供の発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。特に離乳食は保護者の要望に応じて調理している。面談やアセスメント時等で子供の好き嫌いを把握している。給食担当と連携を密にして残食を減らす努力をしている。行事食や季節食等を取り入れ、変化のある献立となるよう配慮している。大量調理マニュアル等に基づき衛生管理が適切に行われている。
A-2 子育て支援							
A-2-(1) 家庭との緊密な連携							
17 A-2-(1)-①	子供の生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 85% 10% 0% 0% 5%				a		a 連絡帳や朝夕の面談等により、家庭との日常的な情報交換を行っている。保育参観や保育士体験等の催し物を通して、保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。面談等も含め、家庭の状況、保護者との情報交換の内容を記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援							
18 A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 75% 20% 0% 0% 5%				a	保育体験・面談を実施。アンケートを実施。会議等での情報周知。	a 保育参観・保育士体験・イベント等を通じて、コミュニケーションにより保護者との信頼関係を築く様、努めている。保護者の就労状況や突発的な交通機関の遅延等にも対応して、延長等の相談に適切に応じている。相談対応にいても、保護者の事情を配慮して曜日や時間の対応を工夫している。子育て支援センターとの連携で、相談支援を受け付ける体制が構築されている。
19 A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子供の早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 70% 20% 0% 0% 10%				a	現在、苦情はなし疑いのあるお子さんは居ません。	a 家庭に於ける虐待等権利侵害の兆候を見逃さない様に、子供を着替えさせる時に確認している。又、虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議している。保護者の状態に付いても、何か異変があれば直ぐに対応する準備がされている。職員に対しては、研修や勉強会により理解を促し、早期発見に心掛けている。虐待等権利侵害を発見した場合の対応等に付いては、虐待防止マニュアルを整備している。
A-3 保育の質の向上							
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)							
20 A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 70% 30% 0% 0% 0%				a		a 保育士は、月案や記録・職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を定期的に行っている。自己評価に当たっては、結果を共有する事により互いの学び合いや意識の向上に繋がっており、これに基づき保育技術の改善や専門性の向上を目指し、保育所全体の発展へと繋がって行く。

【ご意見欄】

◎運営に関する事、利用者様からのご要望等、なんでも結構ですので、お気づきの点がありましたらご記入下さい。

私自身、異動してきて初めての年なので、保育園の状況や子ども・保護者・職員の様子を把握するのはいっぱいになってしまい、丁寧な保育の振り返りができていないと感じる。マニュアル等も整備し始めているところだったり、保育課程も変えていこうとしていたり、全てが途中の段階なので、職員に負担をかけている。